

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	大月市賑岡町畑倉	地区名	国道139号 (畑倉バイパス)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	------	----------	-----	-----------------	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景

国道139号は、静岡県富士市を起点とし、東京都奥多摩町に至る幹線道路であり、大月市の一部地域から県境にかけて第2次緊急輸送道路に指定されている。しかし大月市内では約6.0kmが未整備となっており、特に賑岡町畑倉地内は、幅員狭小で道路線形も悪く、大型車のすれ違いができないなど交通の隘路となっている。さらに区間内には老朽橋や道路防災総点検による要対策箇所もことから早急に道路整備に着手する必要がある。

②整備目標・効果

- 主要目標 ○災害に強い道路の確保
  - 危険度 (落石等) : 要対策 1ヶ所 要監視 4ヶ所
  - 損傷度等 (橋梁) : 対策区分C
  - 自動車交通量 : 2,236台/12h (H27センサス) < 3,428台/12h (平日) 以上※ ※評価基準値
- 副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上
  - 道路改良率 : 70.5% (R4道路現況表) > 64.0%未済※
  - 混雑時走行速度 : 29.2km/h (R4実測) < 30km/h以下※
- 副次効果 ○アクセス機能の維持 ※評価基準値 (通行止による迂回に2倍以上の時間が必要となる道路である。)

③目標達成の方法

- ・大月市賑岡町畑倉地内における約1,100mの未改良区間の整備  
道路幅員 2.85~7.25 (1車線) → 10.5m (2車線)

(2) 整備内容

①整備内容	道路改良 L=1,100m W=6.0(10.5)m	橋梁	2橋
②着手年度	令和5年度	③完成見込年度	令和14年度
④総事業費	約3,500百万円 (国費2,137百万円(6.105/10) 県費1,363百万円(3.895/10))		
⑤年度別の整備内容	(事業費)		
令和5年度	調査設計	100	百万円
令和6年度	調査設計 用地買収	200	百万円
令和7年度	用地買収	200	百万円
令和8~9年度	用地買収、道路改良工事	500	百万円
令和10~14年度	道路改良工事	2500	百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

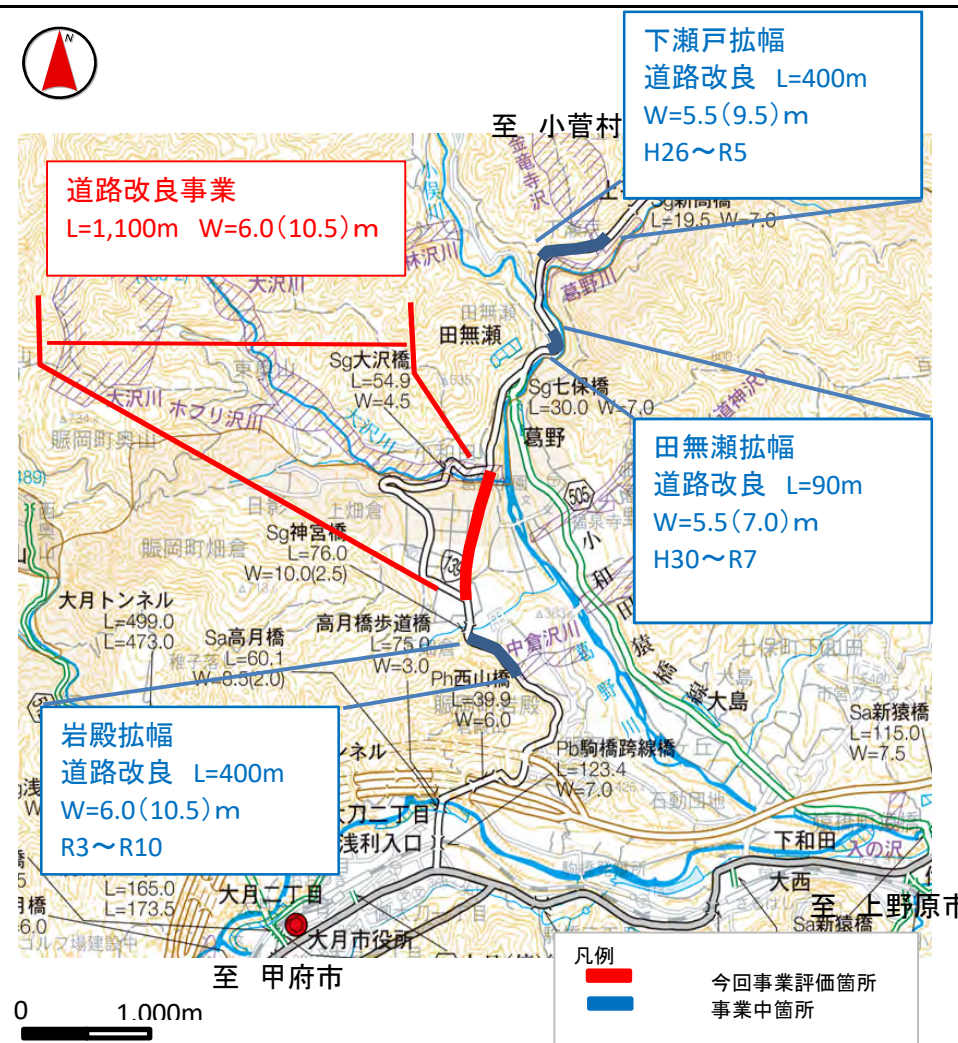
⑥既整備内容・期間・事業費

- 下瀬戸拡幅 道路改良 L=400m W=5.5(9.5)m H26~R5 約990百万円
- 田無瀬拡幅 道路改良 L=90m W=5.5(7.0)m H30~R7 約80百万円
- 岩殿拡幅 道路改良 L=400m W=6.0(10.5)m R3~R10 約400百万円

(3) 中・長期計画等の位置付け

- ・山梨県総合計画 (令和元年12月策定)
- ・山梨県強靱化計画 (令和2年3月改訂)
- ・山梨県社会資本整備重点計画 (第四次) (令和4年9月改定)
- ・山梨県広域道路交通計画 (令和3年3月策定)

(4) 事業位置図等

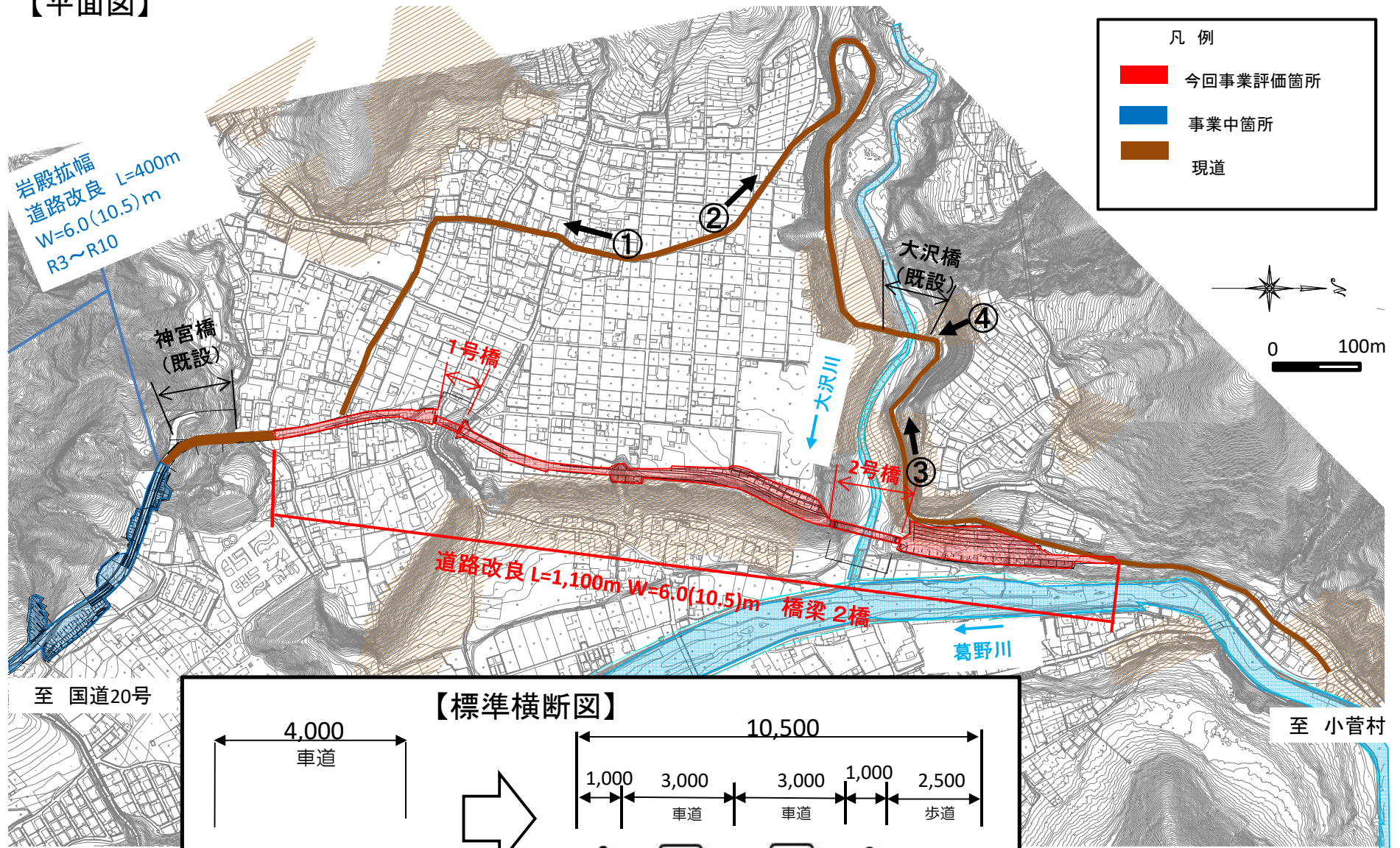


## 2.評価シート

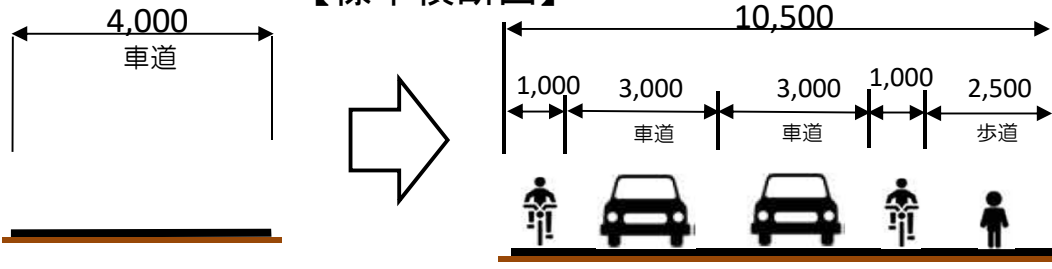
<p><b>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</b> <span style="float:right">〈 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 〉</span></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本路線は大月市と小菅村を結ぶ唯一の道路であり、一般通行の用に供する国道で、極めて公共性が高い。</li> </ul>	<p><b>(5) 整備手法の有効性</b> <span style="float:right">〈 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 〉</span></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該区間の国道139号の現道は歩道もなく幅員が狭隘であるが、現道拡幅は、住宅地では沿線に民家が連担し拡幅が困難であり、山間部でも長大斜面が多く切土が困難なことから、走行性や経済性にすぐれ、民家への影響が最小限となるバイパスとした。</li> </ul>																																						
<p><b>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべき事業か)</b> <span style="float:right">〈 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 〉</span></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県管理国道であり、道路法第12条により県が行わなければならない。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/> 他 の 整備手法の有無 <span style="float:right">〈 有 <input checked="" type="radio"/> 無 〉</span></p> <p>(状況)</p> <p>なし</p>																																						
<p><b>(3) 経済効率性</b> <span style="float:right">〈 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 〉</span></p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:10%;"><b>総事業費</b></td> <td style="width:15%;">3,500百万円</td> <td style="width:10%;"><b>工期</b></td> <td style="width:15%;">R5~R14</td> <td style="width:10%;"><b>基準年</b></td> <td style="width:10%;">R5</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"><b>経済効率性</b></td> <td><b>費用</b></td> <td>2,733 百万円</td> <td><b>便益</b></td> <td>3,756 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  <b>建設費</b></td> <td>2,620 百万円</td> <td>  <b>走行時間短縮</b></td> <td>3,163 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  <b>維持管理費</b></td> <td>113 百万円</td> <td>  <b>走行経費減少</b></td> <td>408 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>  <b>交通事故減少</b></td> <td>14 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>  <b>その他※</b></td> <td>171 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>B/C</b></td> <td colspan="5">1.4</td> </tr> </table> <p>※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益、災害解消便益 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>	<b>総事業費</b>	3,500百万円	<b>工期</b>	R5~R14	<b>基準年</b>	R5	<b>経済効率性</b>	<b>費用</b>	2,733 百万円	<b>便益</b>	3,756 百万円		<b>建設費</b>	2,620 百万円	<b>走行時間短縮</b>	3,163 百万円		<b>維持管理費</b>	113 百万円	<b>走行経費減少</b>	408 百万円				<b>交通事故減少</b>	14 百万円				<b>その他※</b>	171 百万円		<b>B/C</b>	1.4					<p><b>(6) 環境負荷等への配慮</b> <span style="float:right">〈 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 〉</span></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地形が急峻のため、部分的に切土等が生じる箇所があるが、ルート、構造など、出来るだけ周囲の自然環境への影響が少なくなるような計画とする。</li> </ul>
<b>総事業費</b>	3,500百万円	<b>工期</b>	R5~R14	<b>基準年</b>	R5																																		
<b>経済効率性</b>	<b>費用</b>	2,733 百万円	<b>便益</b>	3,756 百万円																																			
	<b>建設費</b>	2,620 百万円	<b>走行時間短縮</b>	3,163 百万円																																			
	<b>維持管理費</b>	113 百万円	<b>走行経費減少</b>	408 百万円																																			
			<b>交通事故減少</b>	14 百万円																																			
			<b>その他※</b>	171 百万円																																			
<b>B/C</b>	1.4																																						
<p><b>(4) 事業実施・規模の妥当性</b> <span style="float:right">〈 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 〉</span></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未改良区間における道路整備に必要な必要最低限の範囲としており、規模は妥当である。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 同 等 施 設 等 ( 計 画 を 含 む ) の 有 無 <span style="float:right">〈 有 <input checked="" type="radio"/> 無 〉</span></p> <p>(状況)</p> <p>なし</p> <p><input type="checkbox"/> 必 要 整 備 内 容 と そ の 根 拠</p> <p>(状況) 区域：畑倉地内の未改良区間を回避するバイパスの必要最小区間 (L=1100m)</p> <p>道路構造 幅員等の道路規格は、第3種3級 設計速度40km 車道幅員：3.00m 車線数 2</p>	<p><b>(7) 事業計画の熟度</b> <span style="float:right">〈 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 〉</span></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下瀬戸拡幅、田無瀬拡幅、岩殿拡幅が事業中であり、地元から残された未改良区間について、道路の拡幅改良が強く要望されている。ルートについても、地元と調整済みで了解を得ている。</li> </ul> <p>《総合評価》 <span style="float:right">〈 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 〉</span></p> <p>・7項目全て妥当と評価されることから、実施が妥当と判断する。</p>																																						

### 3. 添付資料シート (1)

#### 【平面図】



#### 【標準横断面図】



### 3. 添付資料シート (2)



① 路線バスすれ違い困難



② すれ違い困難 (すれ違い待ち)



③ すれ違い困難 (山間部)



④ 大沢橋 (C判定)